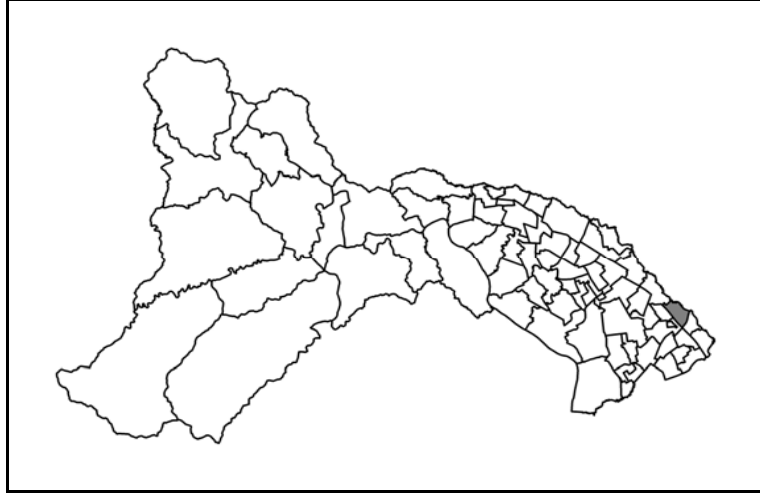


○地区を構成する町丁

【南区】 鶴野森1丁目～3丁目、上鶴間本町1丁目・2丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

大野中(相模原リリエンハイム, 柏木, 鶴野森団地, 自治会法人鶴野森), 大野南(メゾン鹿島台, 自治会法人谷口)

○地区概況

地区の北東端に沿って境川が流れている。境川沿いは一段低い段丘面となっている。北部には段丘崖が見られるが、北東部では明瞭な段丘崖はなく、境川に向かって緩やかに下る斜面が見られる。南西端を国道16号が通っている。また、北部には県道52号相模原町田線が、南部には県道51号町田厚木線が通っている。南東端は小田急小田原線に沿う。地区内ではないが、東端付近に町田駅、南端付近に相模大野駅がある。住宅地および農地が多い。

○建物数・人口

建物	区分		建物(棟数)	
	区分	棟数		
建物	木造(昭和55年以前)	428 棟		
	木造(昭和56年以降)	1,127 棟		
	非木造(昭和55年以前)	54 棟		
	非木造(昭和56年以降)	335 棟		
	合計	1,944 棟		
人口	区分		人口(人)	
	区分	人口		
	0～4歳	561 人		
	5～64歳	9,455 人		
	65歳以上	2,098 人		
合計	12,114 人			

○所見

- ・境川沿いの段丘面から避難する経路には、坂道がある。
- ・住宅地の内部では、道路の幅が狭いところが多い。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	
消防団詰所	鶴野森
病院等	長峰医院
主な災害時要援護者施設	ステージ渋谷, セントケア相模大野, メディカルホームまどか町田, コミュニティーホーム・ピノ, 特定非営利活動法人 さがみメンタル・ケア, セラピールームシンフォニー, ヴィンテージ・ヴィラ相模原
幼稚園、保育園	うのもり幼稚園
学校、大学	鹿島台小学校, 鶴野森中学校
避難所 ※洪水時避難所兼用	※鹿島台小学校, ※鶴野森中学校
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応	鹿島台小学校, 鶴野森中学校
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

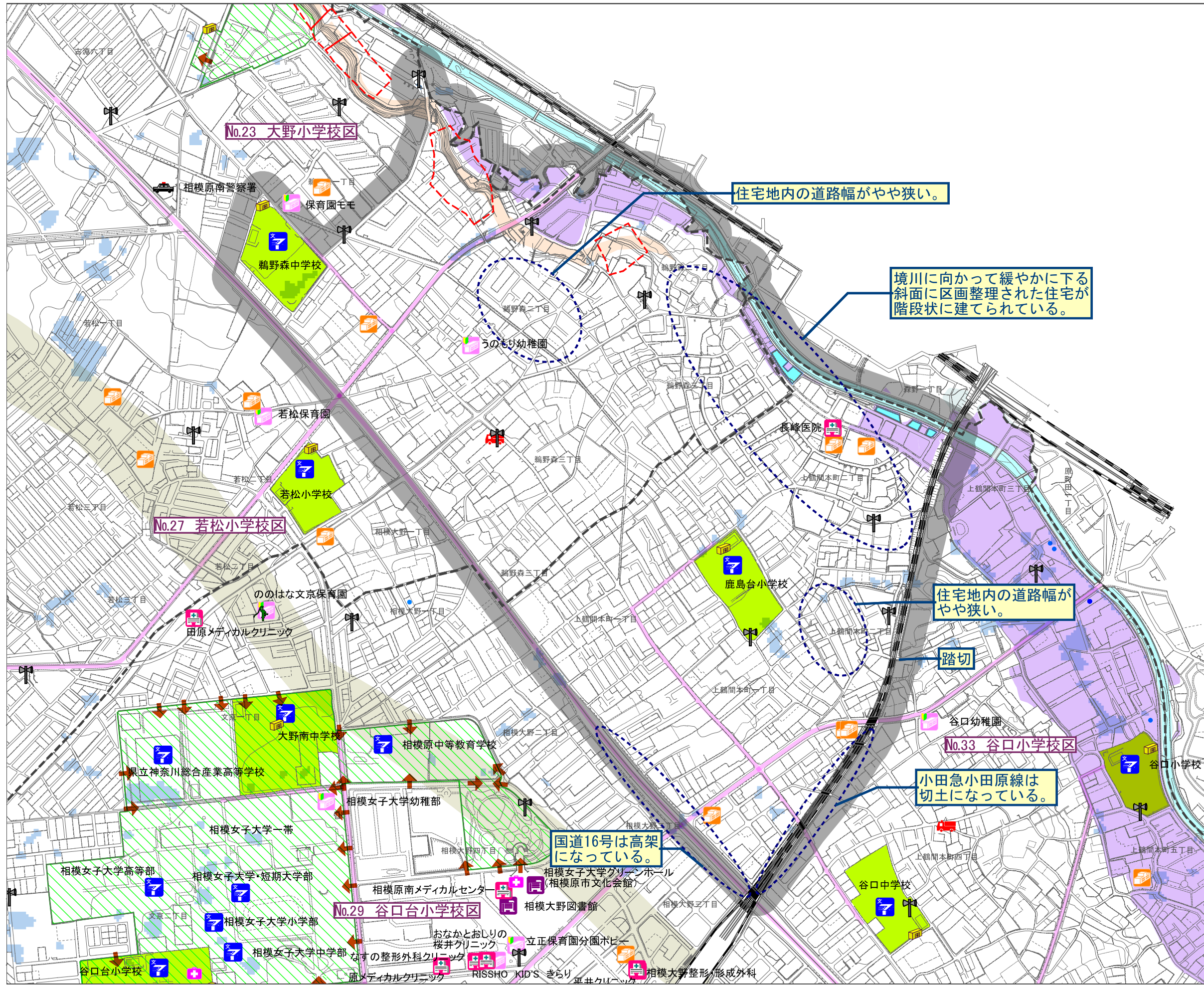
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	91 棟	4.7 %	3 棟	0.2 %	13 棟	0.7 %
建物焼失	9 棟	0.5 %	0 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	6 人	0.0 %	0 人	0.0 %	1 人	0.0 %
閉込者	44 人	0.4 %	2 人	0.0 %	7 人	0.1 %
重傷者	6 人	0.1 %	0 人	0.0 %	1 人	0.0 %
軽傷者	39 人	0.3 %	7 人	0.1 %	15 人	0.1 %
避難所避難者(当日)	334 人	2.8 %	31 人	0.3 %	69 人	0.6 %
避難所避難者(1週間後)	1,022 人	8.4 %	286 人	2.4 %	496 人	4.1 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	
土砂災害	
地震による地盤災害	
地震による建物被害、火災	

○近年の主な災害履歴

なし



凡 例

防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設 幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

書き込み欄

みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)

